

変わりゆく未来へ、赤十字の挑戦を我々と一緒に。

採用担当者メッセージ

赤十字社は、「目の前の苦しんでいる人を救う」という目的を実現すべく、世界中のほとんどの国と地域に広がり活動をする組織です。日本赤十字社は1877年に設立された博愛社が前身で、名誉総裁を皇后陛下がつとめられています。

当社は47都道府県の県（道・都・府）庁の所在地に支部を置き、支部事務局、医療施設、赤十字血液センター、社会福祉施設等を設置し、大きく分けて9つの活動をしています。命を救う「血液事業」「国内災害救護」「救急法等の講習」「赤十字病院」「国際活動」、生活を支える「赤十字ボランティア」「社会福祉」、人を育む「看護師等の教育」「青少年赤十字」です。

職員は、大きく分けて医師や看護師に代表される「医療職」、介護福祉士や保育士などの「福祉職」、そして皆さんが受験されようとしている「事務職」の3つの職種で構成されています。

医師や看護師等の医療従事者でなくても、「一人でも多くの人を救いたい」という使命を実現するために、事務職員でも幅広い業務に携わることができます。また、日本赤十字社は完全な民間企業ですが、事務職の分野は公務員により近い仕事も多くあるのも特徴です。

鳥取県内では鳥取県支部、鳥取赤十字病院、鳥取県赤十字血液センターの3つの施設が赤十字事業を展開しています。

採用された方は、いずれかの施設で勤務をしていただきます。希望する施設に配属されるかどうかはわかりませんが、どの企業や団体にもあるセクションもあれば、赤十字特有のセクションもあります。これらのセクションの仕事はその多くが「事務職員」の手で行われています。言い換えると事務職員の担当する仕事は多岐にわたりかつ非常に大切です。

また、事務職員の日々の仕事は、決してデスクワークばかりではありません。文書や請求書を作成したり、給与を計算したりというような正確性が求められる仕事から、一般の方にAEDの使い方を広めていく活動や街頭に立ち献血を募る「呼びかけ」など赤十字活動を支える地道な仕事、事業方針の策定や具体的な企画の立案、そしてその実践といった赤十字事業の根幹を成す仕事まで、その仕事の領域は無限です。

そのため、配属施設や担当業務にもよりますが、公用車で出張し、業務を行う場合が多くありますので自動車の運転は必須です。車の運転に自信のない方は、少しずつでも慣れておくようにお願いします。

最後に・・・こうしてみなさんに、仕事を選んでいただく候補として日本赤十字社のことをお伝えできることを大変うれしく思っています。人に何かをしてもらうのを期待するのではなく、自ら主体的に考え、自ら積極的に行動してみる。

それこそまさに“赤十字の本質”であり、私たちが求める人材です。たくさんの応募を心からお待ちしています。

日本赤十字社鳥取県支部総務課長（採用担当者）